

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	予防接種健康被害者保健福祉相談事業費	事業開始年度	昭和52年度			作成責任者
担当部局庁	健康局	担当課室	結核感染症課			結核感染症課 亀井 美登里
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予防接種法第18条、19条	関係する計画、通知等	「予防接種健康被害者保健福祉相談事業の実施について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	予防接種法第18条に基づき、予防接種法第11条による、医療費・医療手当、障害児養育年金、障害年金の給付の支給に係る者であって居宅において介護を受けるものの医療、介護等に関し、その家庭からの相談に応ずる事業その他の保健福祉事業の推進を図る。また、予防接種法第19条に基づき国民が正しい理解の下に予防接種を受けるよう、予防接種に関する知識の普及を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	健康被害者及びその家族に対し、保健福祉に関する相談指導を行うことにより、生活上の負担軽減を図るとともに、相談指導に当たる者の技能向上のため、研修を実施するものである。また、自治体等からの予防接種の問い合わせに対応するべく、電話相談を行うとともに、予防接種業務に従事する者及び予防接種を受ける者又はその保護者向けにガイドラインを作成し、正確な情報の普及に努めるもの。  (補助率 10/10)					
実施状況	【本部保健福祉相談員】訪問活動 51件、電話相談 745件、地方相談員からの家庭訪問報告書への返信 920件 【地方保健福祉相談員】訪問活動 1221件 【普及啓発】予防接種ガイドライン 約5万部、予防接種と子どもの健康 約35万部、インフルエンザガイドライン 約1万部、ホットライン電話相談 2503件					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	87	86	75	40	39
	執行額	70	86	75		
	執行率	80.5	100.0	100.0		
	総事業費(執行ベース)	70	86	75		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	支出先・用途の把握については、事業完了後提出される事業実績報告書により把握				
	見直しの余地	平成22年度予算において、保健福祉相談員の数や講習会の回数等の見直しにより、対前年度54%(▲30,209千円)の規模に見直しを図った。				
予算監視の所見率化	一部改善(コスト削減)  公益法人向け補助金の支出を削減する観点から、事業実績を踏まえて啓発普及冊子作製費等について効率化を図ること。					
補記						

厚生労働省 75百万円

交付申請書の内容審査、交付決定、補助事業者の指導監督等



【補助】

A (財)予防接種リサーチセンター 75百万円

予防接種健康被害者保健福祉相談事業の実施

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.(財)予防接種リサーチセンター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	保健福祉相談員	22			
人件費	保健福祉相談員	13			
旅費	保健福祉相談員家庭訪問等	10			
非常勤職員手当	保健福祉相談員	9			
印刷製本費	普及啓発リーフレット等作成	7			
借料及び損料	予防接種従事者研修会場借料等	4			
賃金	保健福祉相談員	4			
社会保険料	保健福祉相談員	3			
その他	消耗品費等	3			
計		75	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0